



日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第54期 事業報告書 2018 4.1 ▶ 2019 3.31

54th



お客様の 「ありがとう」のために 価値あるサービスを

代表取締役社長 下條 治

株主の皆様、平素は当社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。代表取締役社長の下條治です。

ここに当社第54期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業内容をご報告いたします。

当連結会計年度におきましては、引き続きIT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）、パーキングシステム事業とも順調な受注状況を維持し、前年同期と比較して増収とすることができました。一方、利益におきましては、中期経営計画で掲げた「業務プロセスの改善による収益性の向上」のための諸施策等が効果を現し、安定的な収益を生み出せる体質を確立することができ、前年同期と比較して増益となりました。

以上により、当連結会計年度の売上高は、17,007百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益1,045百万円（前年同期比33.4%増）、経常利益1,089百万円（前年同期比34.9%増）となり、8期連続の増収及び2期連続の増益を達成することができました。一方、店舗（STYLE-B）及び駐輪場設備等の減損損失131百万円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は615百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

セグメント別概況につきましては、システム開発事業は、順調に案件獲得が進み、前年同期と比較して増収とすることができました。さらに地道なプロジェクト進捗管理活動の定着や採算管理の強化等が利益率向上に寄与したことにより、前年同期と比

較して増益となりました。この結果、売上高6,329百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益726百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

サポート&サービス事業におきましては、新規業務での効率的な要員配置や業務運営が功を奏し、前年同期と比較して大幅な増益となりました。この結果、売上高4,611百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益374百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

パーキングシステム事業におきましては、前年同期のような大型案件は少なかったものの、第4四半期においては、中小型案件の受注や駐輪場利用料収入が伸長し増収となりました。この結果、売上高6,027百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益883百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

以上のとおり、業績は順調に推移しており、当社の基本方針に基づき、2019年3月期の期末配当につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、普通配当を1株当たり7円といたしました。これにより、2019年3月期の年間配当は、既に実施した中間配当7円と合わせ、1株当たり14円となります。

当社は、健全で透明性の高い経営とダイナミックな行動力のある企業として、お客様にとっても社会にとっても必要な企業であり続けられるよう、さらなる進化に挑戦していく所存でございます。引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

Vision 2020

2020年3月期の財務目標

グループ連結 (2018年5月修正)

売上高	180 億円
営業利益	10 億円
営業利益率	5.6 %

株主様への安定的かつ継続的な利益還元

重点施策

グループ

業務プロセス改善による収益性の向上
働き方改革による企業競争力の向上

IT関連事業

- ▶ オリジナル技術・サービスの開発
- ▶ 課金型ビジネスの拡大

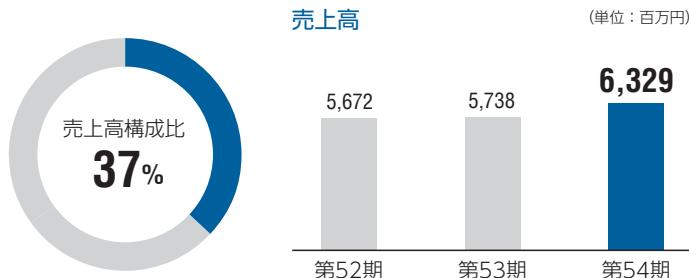
パーキングシステム事業

- ▶ 月極め駐輪事業拡大
- ▶ 電磁ロック式駐輪場No.1
(管理台数50万台達成)



システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、NCD China (*)



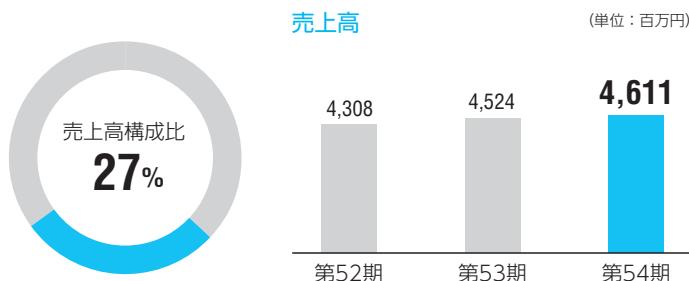
主要なサービス

- ・システムコンサルティング
- ・システムインテグレーションサービス
- ・パッケージソリューションサービス
- ・アプリケーションシステムの運用・保守

順調に案件獲得が進み、前年同期と比較して増収とすることができました。さらに地道なプロジェクト進捗管理活動の定着や採算管理の強化等が利益率向上に寄与したことにより、前年同期と比較して増益となりました。この結果、売上高6,329百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益726百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー



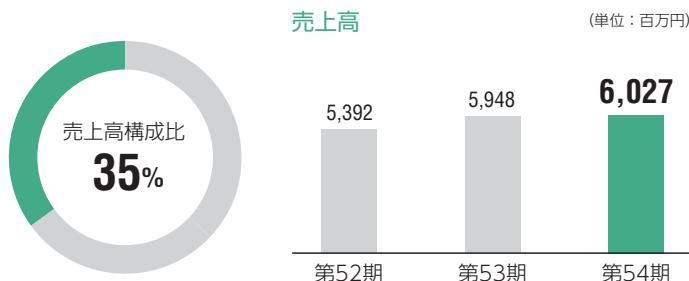
主要なサービス

- ・テクニカルサポートサービス
- ・ヘルプデスクサービス
- ・アウトソーシングサービス
- ・システム等管理運営

新規業務での効率的な要員配置や業務運営が功を奏し、前年同期と比較して大幅な増益となりました。この結果、売上高4,611百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益374百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

パーキングシステム事業

NCD、NCDプロス、NCDテクノロジー



主要なサービス

- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
- ・自転車管理システムの販売及び運営
- ・時間貸し自転車(コミュニティサイクル)運営
- ・自転車関連の総合コンサルティング

前年同期のような大型案件は少なかったものの、第4四半期においては、中小型案件の受注や駐輪場利用料収入が伸長し増収となりました。この結果、売上高6,027百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益883百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

(*) NCD China は「天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司」の英語表記です。

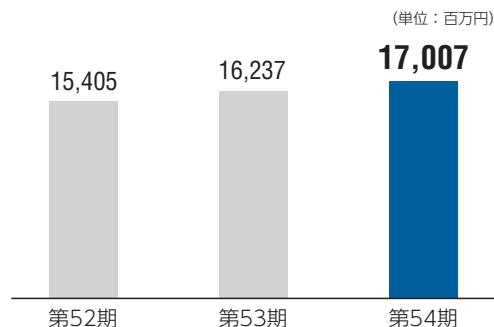
連結業績

売上高

170億7百万円

前年同期比

4.7%増

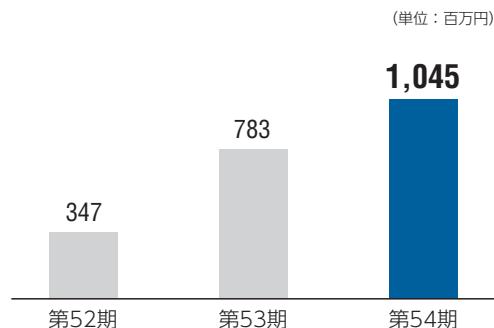


営業利益

10億45百万円

前年同期比

33.4%増

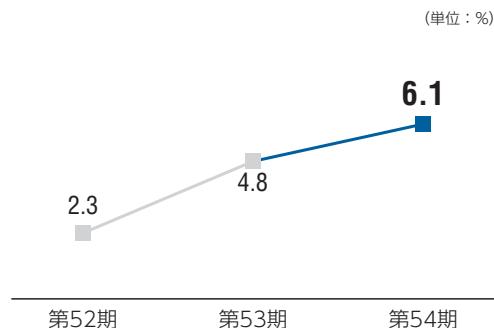


営業利益率

6.1%

前年同期比

1.3ポイント増



連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2019年3月31日現在)	前連結会計年度 (2018年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,455,375	6,343,576
固定資産	4,593,225	4,727,242
有形固定資産	1,220,785	1,434,972
無形固定資産	83,689	78,438
投資その他の資産	3,288,750	3,213,830
資産合計	11,048,601	11,070,818
負債の部		
流動負債	4,291,164	4,043,723
固定負債	3,304,086	3,937,900
負債合計	7,595,250	7,981,623
純資産の部		
株主資本	3,387,893	2,891,879
その他の包括利益累計額	53,456	187,786
非支配株主持分	12,000	9,529
純資産合計	3,453,350	3,089,195
負債純資産合計	11,048,601	11,070,818

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	前連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	17,007,661	16,237,069
売上原価	13,926,108	13,552,336
売上総利益	3,081,553	2,684,733
販売費及び一般管理費	2,036,210	1,901,080
営業利益	1,045,342	783,653
営業外収益	66,943	46,476
営業外費用	22,943	22,618
経常利益	1,089,342	807,511
特別損失	131,156	23,033
税金等調整前当期純利益	958,186	784,478
法人税等	340,580	258,214
当期純利益	617,605	526,264
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	2,470	△370
親会社株主に帰属する当期純利益	615,135	526,635

株主還元

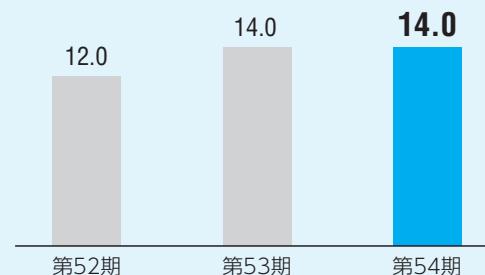
企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針として実践しております。今後も、経営基盤の一層の強化と積極的な事業展開を継続しつつ、適切な利益還元を実施してまいります。

また、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、**株主優待制度**も取り入れております。

→ 裏表紙 **株主優待制度変更のお知らせ**

配当金の推移

(単位：円)



財務諸表など決算情報は、ホームページで開示しています。 <http://www.ncd.co.jp/>

2018年4月 - 9月

4月 NCDプロス株式会社事業開始

長崎営業所に新たなマネージド
サービスセンター (MSC) 開設

5月 OBC Partner Award 2018 受賞

8月 日本就職合同博覧会 in 釜山 開催

9月 第3回コインランドリー店アワード2018
特別賞 受賞

11月

『Wagby Developer Day 2018』に出展

ICタグを使った修理部品の個体管理機能を
Wagbyを用いて開発し、業務の効率化を実現
した導入事例を発表



2018

10

11

12

12月

高性能で低価格な自転車用スマート
トレーナー「NOZA」販売開始

スポーツ用自転車の後
輪を外し、スマートト
レーナー「NOZA」に
取り付けることで、実
際の走行に似た感覚で
のトレーニングが可能



『Salesforce World Tour Tokyo』
に出展

当社で開発したツールを紹介するブース
をかまえ、多くの方々からの注目を得た



2月

東京MXテレビ 東京マーケットワイドに出演

第3四半期業績および中期経営計画の最終年度に向けた施策を発表



3月

株式会社ゼクシス 創立50周年

2019年3月8日、創立50周年を迎え、さらなる50年に向けて躍進中



2019

1

2

3

3月

矢野産業株式会社の 子会社化を発表



九州地区における駐輪場事業のさらなる拡大を狙い、矢野産業株式会社の株式を取得して完全子会社化とする

会社概要

所在地 : 福岡県福岡市南区的場一丁目17番24号
 代表者 : 代表取締役 上田晋太郎
 事業内容 : 自転車・バイク等の駐輪機器の設計
 施工、無人時間貸駐輪場の設計施工、
 駐輪場の管理一般
 設立年月 : 1978年4月



左：矢野孝人
 (前代表取締役)
 右：代表取締役
 上田晋太郎

「TOP PARTNER AWARDS 2018」受賞

販売代理店契約を結んでいるAcer傘下のxplova社より、2018年度のxplova商品(サイクルコンピュータ、スマートトレーナー他)の販売実績において受賞



Acer本社(台湾)にて
 左：取締役常務執行役員
 上田晋太郎
 右：xplova社長
 Ben Wan

人 とともに

当社は、経営理念にも謳っているとおり、創業当時より社員一人ひとりの個性や能力を尊重し、その資質を伸ばすことを重視してまいりました。

■ 活力ある企業

「働き方改革委員会」を立ち上げ後、2018年10月には時差出勤、2019年4月からは在宅勤務も制度化されるなど、改革は着実に進んでいます。経営層と一体となって、多様性を持つ社員一人ひとりが自らのベストパフォーマンスを発揮できるような職場環境および意識づくりを目指しています。

また、メンタルヘルスについても従来から取り組んでいる「明るい職場づくり」活動を一層充実させ、社員の心身両面の健康に留意した「健康経営」を実施しています。



「働き方改革」社内ポスター

■ 社員の成長と新しい事業

2016年度より、優秀で意欲の高い社員を社内選抜し、「事業構想大学院大学」に社費留学させています。学びを通じての自己成長と新規事業開発推進を期待しています。

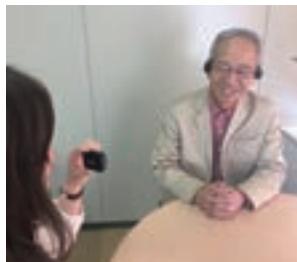
また、事業アイデアの社内公募を行い、優秀な提案は表彰するとともに、事業化の検討を行っています。

社会 とともに

当社は、社会課題の解決に企業の存在意義があると考え、思いを同じくする方たちと協業を行っています。

■ 社会福祉法人奉優会にDenDenを寄贈

高齢者の窓口対応やコミュニケーションツールとして集音器付骨伝導ヘッドホン「DenDen（デンデン）」を2019年1月に社会福祉法人奉優会へ寄贈いたしました。窓口対応時や在宅介護の訪問の際にご活用いただいております。集音器で集めた音を本体の패드から、内耳に届けることができるため、テレビの近くに置いて活用することもできます。



利用イメージ

社会福祉法人奉優会

<http://www.foryou.or.jp/>

■ [Homedoor]に災害備蓄品を寄贈

認定NPO法人 Homedoor（ホームドア）は、「ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくる」をビジョンに掲げ活動をしています。シェアサイクル事業「HUBchari（ハブチャリ）」では、自転車のメンテナンスや貸出などの雇用を創出しています。当社はビジョンに賛同し、災害備蓄品を寄贈いたしました。



HUBchari（ハブチャリ）

認定NPO法人 Homedoor

<http://www.homedoor.org/>

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 Nippon Computer Dynamics Co., Ltd. (NCD)
設立年月日	1967 (昭和42) 年3月16日
資本金	438,750,000円
事業所	本社 (東京都品川区) 福岡営業所 (福岡県福岡市) 福岡デジパリセンター (福岡県福岡市) 長崎営業所 (長崎県長崎市) 江東サービスセンター (東京都江東区)
従業員の状況	NCDグループ 905名 NCD 579名 (注) 上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員および派遣社員を含みません。

連結子会社 (2019年3月31日現在)

株式会社ゼクシス	設立: 1969年3月 本店: 大阪市中央区 資本金: 96百万円 当社出資比率: 100%
NCDテクノロジー株式会社	設立: 2000年11月 本店: 東京都品川区 資本金: 40百万円 当社出資比率: 100%
天津恩馳徳信息系统開発有限公司 (NCD China)	設立: 2005年4月 本店: 中国天津市 資本金: 600千ドル 当社出資比率: 100%
East Ambition株式会社	設立: 2017年2月 本店: 東京都品川区 資本金: 40百万円 当社出資比率: 100%
NCDプロス株式会社	設立: 2018年3月 本店: 東京都品川区 資本金: 30百万円 当社出資比率: 67%

役員 (2019年6月21日現在)

代表取締役社長	下條 治	社外取締役(監査等委員)	奥野 滋
取締役常務執行役員	上田 晋太郎	社外取締役(監査等委員)	圓角 健一
取締役執行役員	小林 勇記	執行役員	田辺 信幸
取締役執行役員	高木 洋	執行役員	宮田 大介
社外取締役	高木 洋二	執行役員	中根 純一
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	苅辺 勉
取締役(常勤監査等委員)	和津田 保	執行役員	合田 友昭
社外取締役(監査等委員)	中山 かつお	執行役員	加藤 裕介

株式の状況 (2019年3月31日現在)

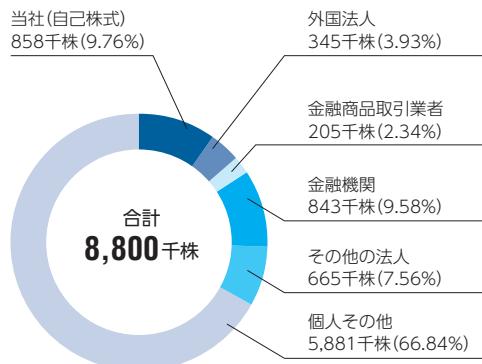
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	7,941,368株 (自己株式858,632株を除く)
単元株式数	100株
株主数	4,194名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	473	5.96
NCD社員持株会	458	5.78
株式会社北斗	430	5.41
下條 武男	390	4.91
小黒 節子	280	3.53
寺内 吉孝	190	2.39
山田 正勝	172	2.17
村山 俊生	167	2.11
下條 治	120	1.51
久本 正幸	117	1.47

(注) 1. 当社は自己株式(858,632株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式数構成比



事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ 市場 (証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	http://www.ncd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、日 本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度変更のお知らせ

当社株式への投資の魅力をさらに高め、より多くの皆様に当社株式を長期にわたって保有していただくため、2019年9月30日を基準日として、長期保有優遇制度を新設することといたしました。また、併せて優待内容も変更いたします。

対象となる株主様

毎年9月30日現在、当社株式を1,000株以上保有いただいている株主様
贈呈時期

12月初旬に発送する「中間報告書」に同封して贈呈

3年以上の保有で
優待内容が
グレードアップ

株主優待制度の内容

(変更前)

保有株式数	優待内容
1,000株 以上 3,000株 未満	ギフトカード2,000円分 宮城県産米ひとめぼれ2kg 日本赤十字社への寄付 2,000円
3,000株 以上 5,000株 未満	ギフトカード3,000円分 宮城県産米ひとめぼれ5kg 日本赤十字社への寄付 3,000円
5,000株 以上	ギフトカード5,000円分 宮城県産米ひとめぼれ10kg 日本赤十字社への寄付 5,000円

(変更後)

継続保有期間 3年未満	継続保有期間 3年以上
ギフトカード 2,000円分	ギフトカード 3,000円分
ギフトカード 3,000円分	ギフトカード 5,000円分
ギフトカード 5,000円分	ギフトカード 7,000円分

継続保有期間条件について

- 年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- 継続保有判定は、半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様を、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- 「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付き最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

当社のウェブサイトでも財務データ、
企業情報などを開示しております。
ぜひご覧ください。

<http://www.ncd.co.jp/ir/>

NCD IR 検索

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
TEL 03-5437-1021

▶ <http://www.ncd.co.jp/>



本報告書に関するお問合せ先 総務部 TEL 03-5437-1021